

総 括

たことを記憶しており，研究動向のシフトを感じた。覆土に区分される研究では，メタン除去を目的とした覆土材が紹介され，これは覆土に新たな機能・概念を付加するものであり，大変興味深く思われた。有効利用に区分される研究では，廃棄物処分場の延命化を目標とした嵩上げ盛土に関する報告が中心であった。

（文責：京都大学 稲積真哉）

【廃棄物処分（粘土系遮水・覆土・有効利用）】（発表：6 編）

粘土系遮水に区分される研究では，粘土系遮水材の吸着特性等，化学的性能に着目した報告が多く見受けられた。なお，これまでは遮水性能に着目した報告が多かっ